

No. 2472

涼しさ求めてちょっと遠くへ

西吾妻山

実施日 2010年8月8日(日)~9日(月)
天候 小雨/薄曇り
リーダー 涌井 良明
参加者 若村貴世子、佐藤金治、小池述史、涌井良明、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、岩崎陽子 計 10名
費用 交通費 JR 上野⇄米沢 20,680円
米沢⇄白布温泉(山交バス) 1,840円
ロープウェイ・リフト 1,440円 宿泊費 9,650円 合計 32,170円
タイム 8日 上野駅(13:14)米沢駅(15:24~15:40 バス)白布温泉(16:25 不動閣) 泊
9日 宿舎発(8:00)ロープウェイ駅(8:05~8:20 ロープウェイ・リフト)北望台(9:20~9:28)梵天岩(10:52~11:00)西吾妻山頂(11:30~12:00 昼食)下山路分岐(12:24)休憩(13:28~13:35)下山口(15:10)不動閣(15:20~16:40 バス)米沢駅(17:25~17:40)
データ 積算距離 8.33km
活動時間 5時間 50分

お盆前の日曜午後の新幹線は、意外と空いておりゆったりと車窓を楽しみつつ米沢駅に着く、アッチー！！西日ギリギリで36°だった。

田舎風景の中バスに揺られて今夜の宿、白布温泉不動閣に到着、いかにも由緒あり気な立派な佇まいの旅館である。従業員も皆さん感じの良い宿で+1ポイント。1レーン 25m プールの浴槽でのんびり温泉に浸かって食後は前夜祭もなく早めにzzzz...

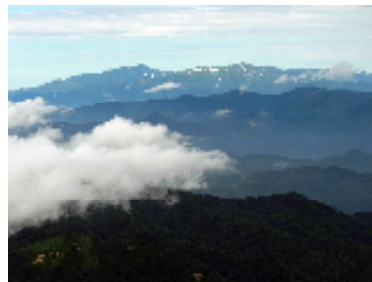
アサーッ！ 樽床川の瀬音を聞きながら露天風呂で覚醒した、キツモチイー、けど空はどんより、何となく歓迎したくない空模様。

宿のクルマで天元台ロープウェイまで送ってもらい、自分で歩かないで高度を一気にあげる、更



に夏山リフト3本を乗り継ぎ1820mから自分の足を使うことになる、リフト中はかなり強い雨足に雨男・女の犯人を一所懸命推測していたが、我がパーティの人柄に打たれたのか、北望台を歩き出すころには雨神様も退散して、この後山行中には落ちる水滴は自分の汗だけだった。

雨上がりでまとわりつくような湿気の中、岩ゴロの多い道を登っていく、直ぐにコリヤたまらんわいと雨具の残党を脱皮して、うんこらしよ、どっこいしよと左右の足を前に進める、前方の視界が開けてかもしか展望台に出る。ヒョー！と思わず奇声が？素晴らしい眺



めである、特に残雪を頂いた飯豊の山並みが美しい、更に北方には朝日連峰が遥かに連なっている。ウーン、今ここにいる幸せを感じる瞬間である。山登りは常に山と一期一会の出会いである。ナンチャッテ。

人形石への分岐から右へ梵天岩へ向かう、あたりは高層湿原の様になり、木道



を行くようになる、時期が良ければワタスゲや今は綿毛のチングルマなどが揺れる天井



の楽園のような雰



困気である。
が今年は猛暑の
仕業かワタスゲ
は既にすっかり
黄昏てしまっ
ていた、ザンネン。

それでもイン
ヤインヤ コンレハスィンバラスィヤンマ
ダナヤァ！なーんて思いつつ写真撮り
でしばしば小休止するのでなかなか行程
はかどらない。

大凹(材ボ)の水場で西吾妻のミネラ
ル水でグビグビっと喉を潤してから、岩
の多い道をヤットコサ、ホイコラショ！
と上り詰めていく、やたらにでかく積み
上げたケルンの様な梵天岩で一服、しばし
ぐるぐるっと眺
めを楽しんだ。

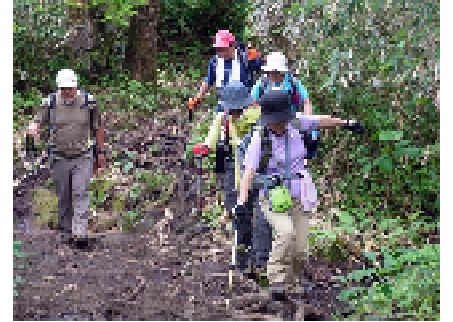
その先僅かで
小社のある天狗
岩に立ち寄りこ
こでも素晴らしい眺望を腹いっ
ぱい味わって、西吾妻山頂へ向かう。



一旦少し下ってから、本峰への登りに
なるが、ゆるい登りの先に西吾妻山頂が
あった。見た目からは想像しにくいよう
な狭さで展望も無いが、立派な標柱が吾
妻連峰の最高点を示していた。こぶし会
貸切のうちにと昼食にした。



山頂から僅かで視界が開け、再び木道
の楽園道になり、かわいらしい避難小屋
に着く、キジ、オハナを済ませ、舞台は本
日の後半のハイライト？大下りへと転換
です。避難小屋を左に見て少しで若女平
への下山路に入る、次第に次の一步の置
き場に悩むようになる、岩ゴロで苔もあ
ったりして気
を使う下りが
延々と続く。
それでも若女
平まで来ると
傾斜も岩も見
られなくなり



しばらく平坦になる、再び急な下りにな
るが岩ゴロからは解放される、沢音が聞
こえ下草の多い山麓道になって山道も終
わり、西吾妻スカイバレーに出た。まる
で計算されたようにバスまで 1 時間半
の余裕、ヤッタネ。

宿で貰った下山入浴券を握りしめて不動
閣へ、オリンピック風呂にザブンでサッ
パリ、ビールごくごくでプハァーッ。

豪華な路線バスで米沢へ、新幹線では
おやかましの反省会も盛り上がってしま
い、乗り合わせた皆さんお騒がせしまし
た。何はともあれ、無事に山行を終える
ことが出来て何よりでした。

山に、天気、宿にそして何よりも参加
メンバーのご協力に感謝です。
また機会があったら懲りずにご一緒し
てくださいね、アリガトウ。

(記&写真・涌井 良明)

